

NSG グループ

2024年3月期 第1四半期決算報告

(2023年4月1日～ 2023年6月30日)

日本板硝子株式会社
執行役常務 CFO
大河内聡人

2023年8月9日

目次

1. 2024年3月期 第1四半期決算概要
2. 2024年3月期 業績予想について
3. リバイバル計画24 (RP24) に基づく構造改革施策の主な進捗
4. まとめ

1. 2024年3月期 第1四半期決算概要

連結損益計算書

前年同期比増収増益、力強いスタート。
ロシアJVの売却に伴い減損損失戻入益を計上

(億円)	4-6月期		
	2023年 3月期	2024年 3月期	差異
売上高	1,779	2,080	300
営業利益	83	146	63
営業利益率	4.6%	7.0%	+2.4pt
個別開示項目 (純額)	23	△ 8	△ 31
個別開示項目後営業利益	106	138	32
金融費用 (純額)	△ 28	△ 64	△ 36
持分法適用会社に対する 金融債権の減損損失の戻入益	-	37	37
持分法による投資利益	22	10	△ 13
持分法投資に関する その他の利益 (△損失)	△ 12	11	24
税引前利益	88	133	45
当期利益	33	75	43
純利益 *	24	70	46
EBITDA	180	253	73

グループ全体では販売数量増加および販売価格改善により全事業で増収。建築用および自動車用で増益、営業利益率は7%に改善

【売上高および営業利益 (事業別) : 前年同期比】

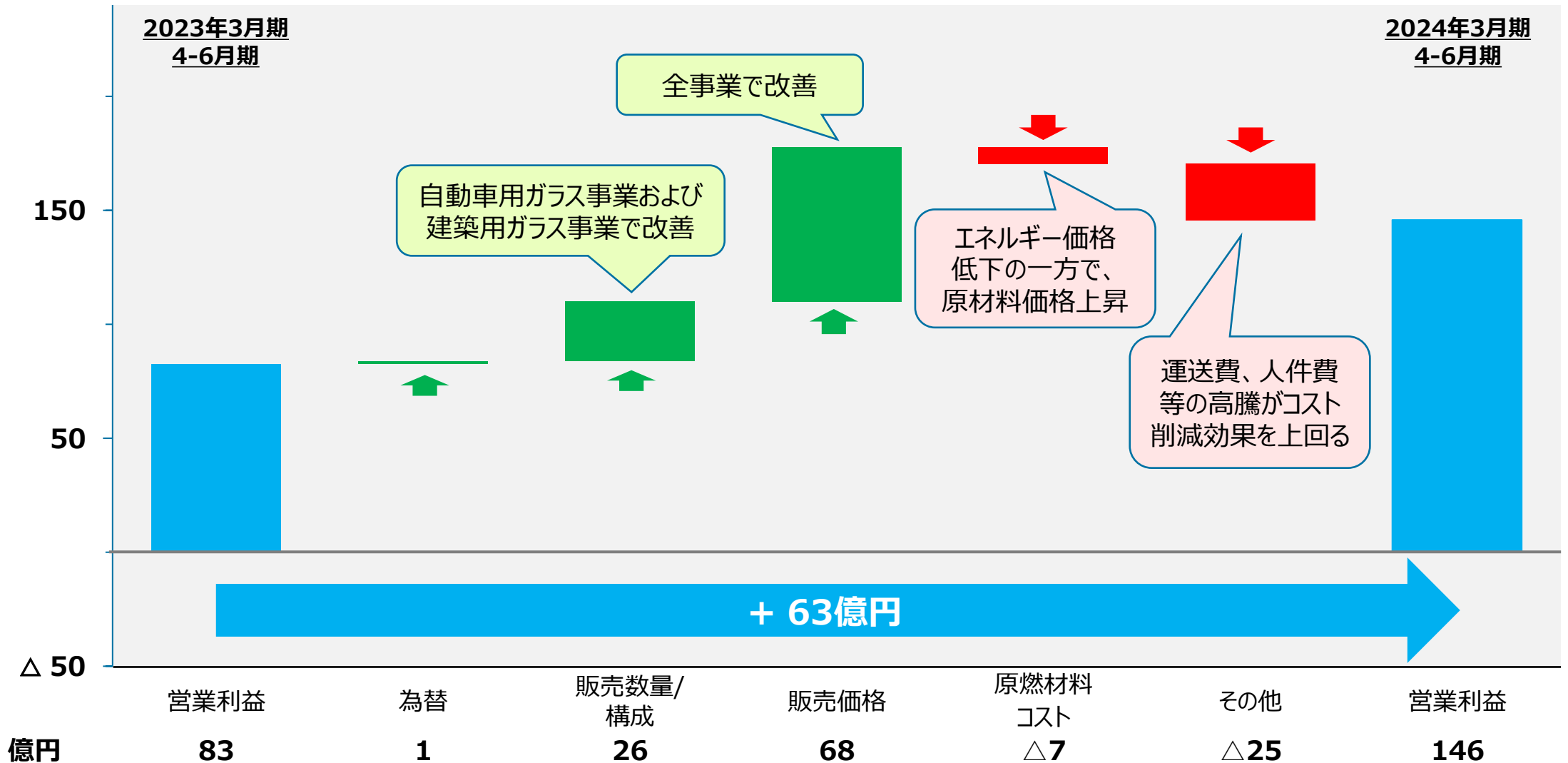
(億円)	売上高	営業利益
建築用	+101	+30
自動車用	+193	+39
高機能	+0	△11
その他	+5	+5
グループ全体	+300	+63

金利上昇に伴い金融費用が増加

ジョイント・ベンチャーの所有するロシア子会社の売却に伴い、過去に計上した金融債権および投資に対する減損損失の戻入益を計上

営業利益差異分析 (4-6月期)

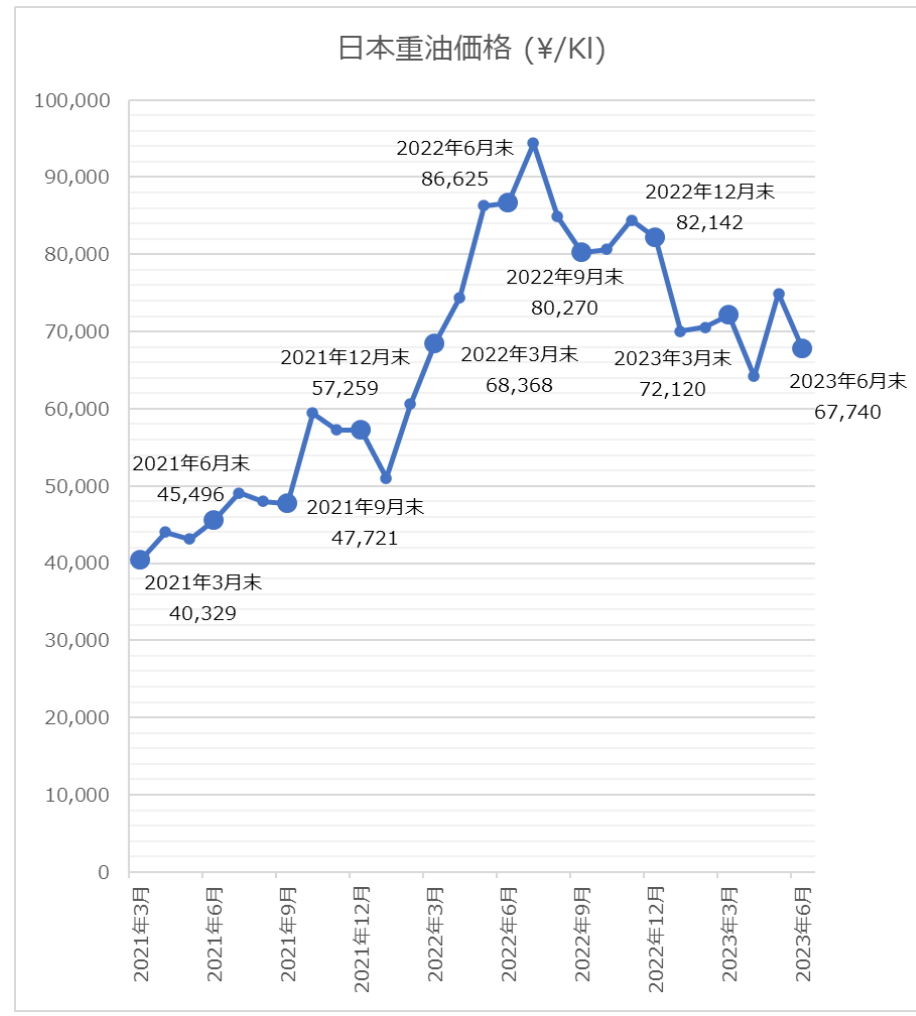
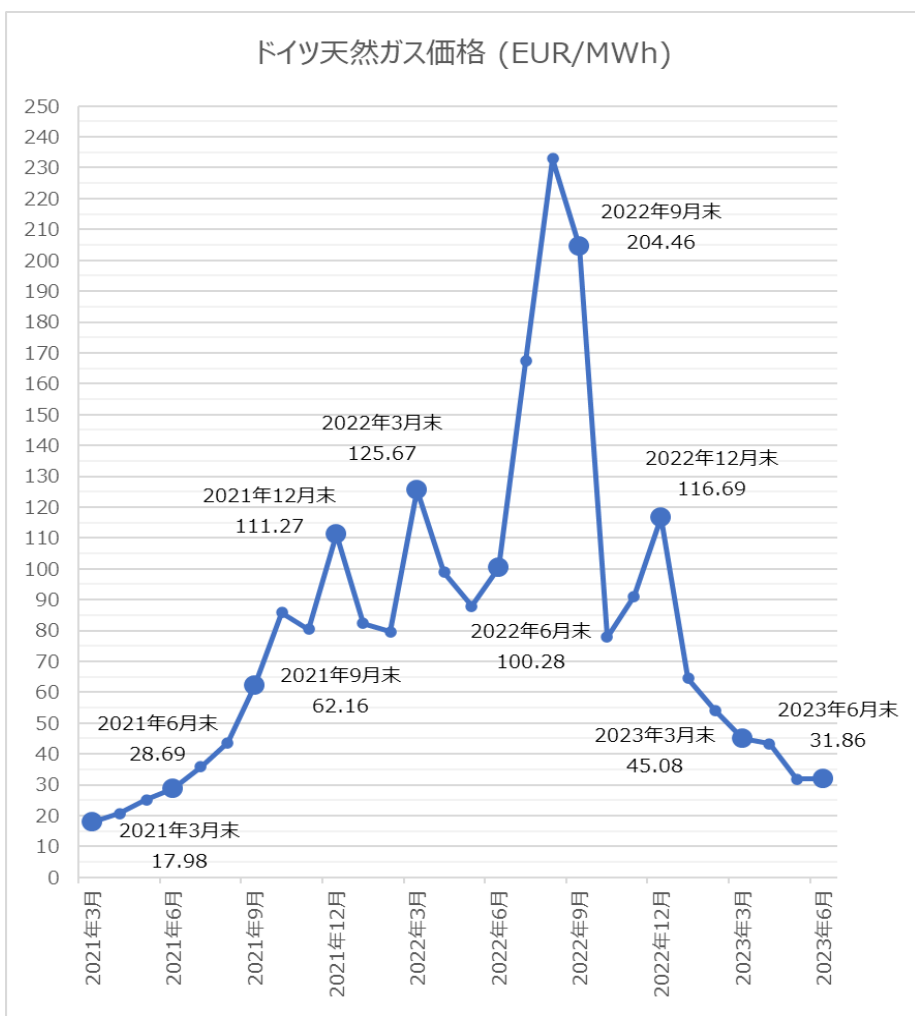
原材料費およびその他コスト増加の影響を販売価格改善および販売数量増加により吸収



エネルギー価格の推移

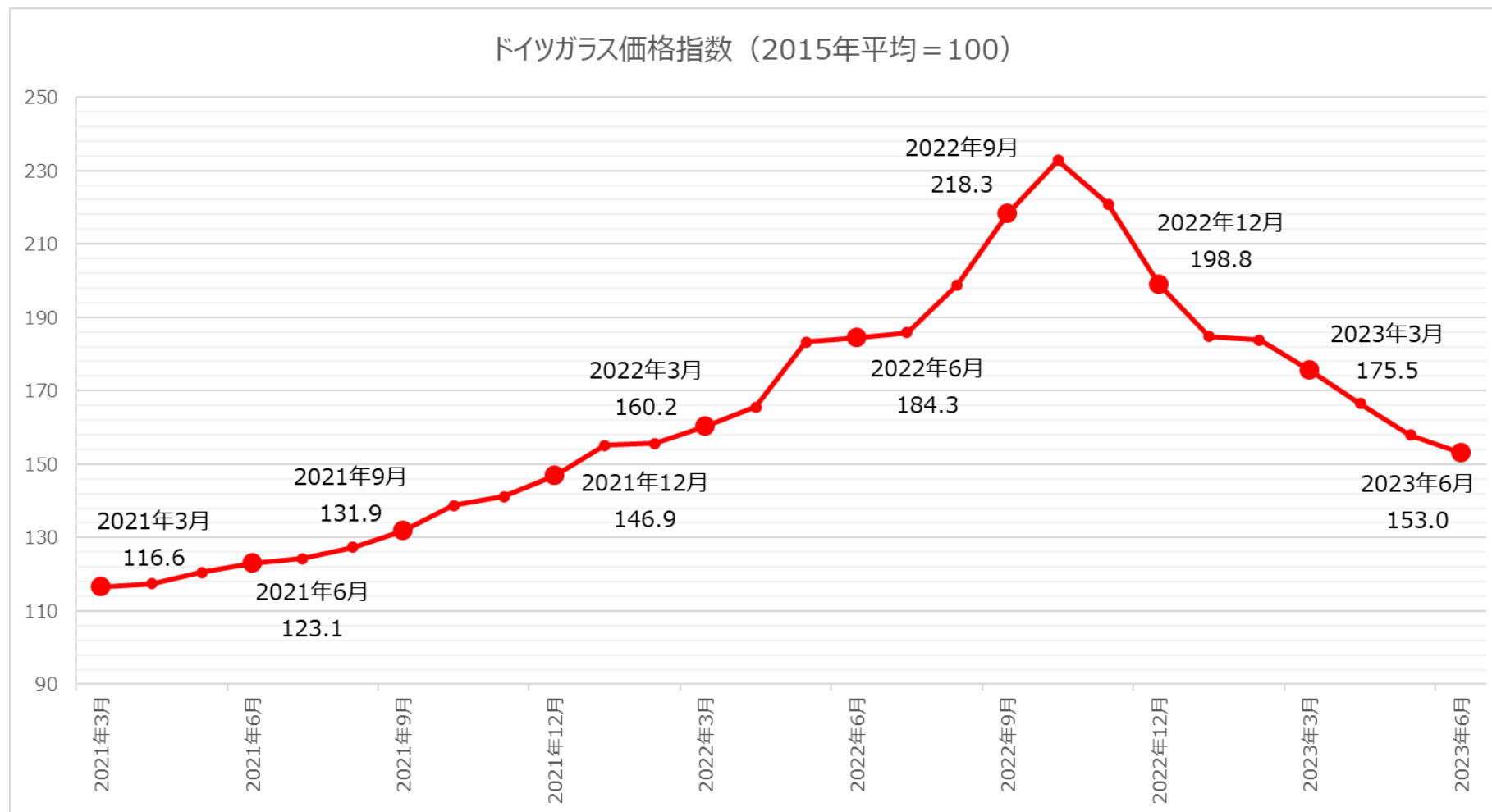
ドイツの天然ガス価格：下落し安定的に推移

日本の重油価格：下落傾向だが依然高価格で推移



ガス価格の推移

天然ガス価格低下に伴い低下したが、原材料およびその他コスト上昇を吸収する水準で推移



連結貸借対照表

自己資本比率は12.4%と前期末比で2.2pt改善。
 RP24の目標数値である10%超を維持

(億円)	2023年 3月末	2023年 6月末	増減	
資産合計	9,514	10,000	486	為替影響による有形固定資産の増加
非流動資産	6,151	6,612	462	
流動資産	3,363	3,388	25	仕入債務の減少
負債合計	8,265	8,443	178	長期借入金の増加
流動負債	3,844	3,604	△ 240	
非流動負債	4,421	4,839	418	為替影響および純利益の計上 自己資本比率12%超
資本合計	1,249	1,557	308	
親会社の所有者に帰属する持分	970	1,245	274	主に運転資本の増加に伴う フリー・キャッシュ・フローのマイナス および円安影響により借入金が増加
自己資本比率 (%)	10.2%	12.4%	+2.2pt	
ネット借入	4,079	4,631	552	

連結キャッシュ・フロー計算書

フリー・キャッシュ・フローは運転資本の季節的な増加に伴いマイナス。
通期でRP24の目標数値である100億円以上を目指す

(億円)	4-6月期		
	2023年 3月期	2024年 3月期	差異
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 32	△ 175	△ 143
（うち、運転資本の増減）	△ 200	△ 384	△ 184
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 97	△ 141	△ 44
（うち、有形固定資産の取得）	△ 91	△ 138	△ 47
フリー・キャッシュ・フロー	△ 129	△ 316	△ 187
財務活動によるキャッシュ・フロー	20	51	31
現金及び現金同等物の増減	△ 108	△ 265	△ 156
現金及び現金同等物 期末残高	520	462	△ 58

四半期利益は増加したが、季節性により運転資本が増加

戦略投資の増加および為替影響

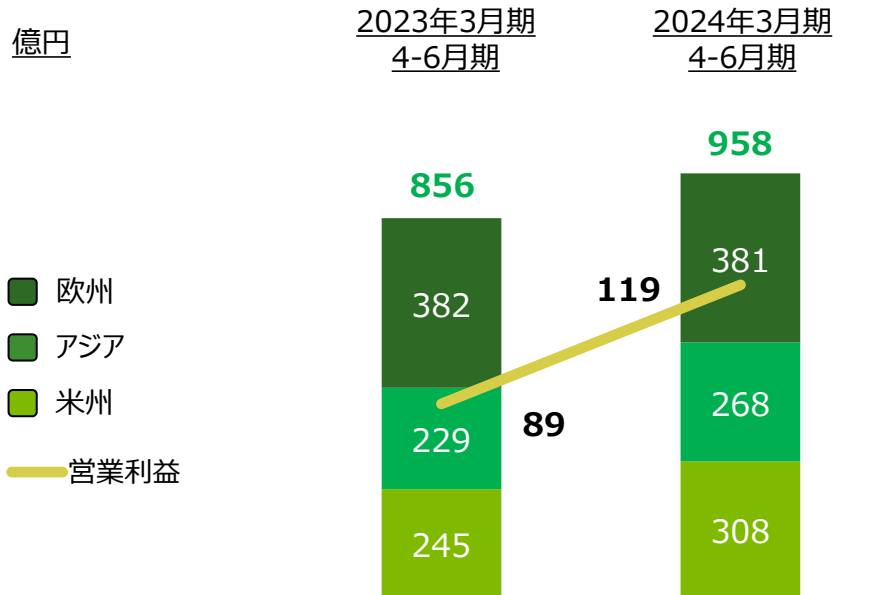
主に運転資本の増加によりマイナスとなったが、通期でRP24の目標数値である100億円以上を目指す

セグメント情報

(億円)	2022年3月期 4-6月期			2023年3月期 4-6月期			2024年3月期 4-6月期			増減	
	売上高	%	営業利益	売上高	%	営業利益	売上高	%	営業利益	売上高	営業利益
建築用ガラス事業	645	44%	61	856	48%	89	958	46%	119	101	30
欧州	278	19%		382	21%		381	18%		△ 1	
アジア	193	13%		229	13%		268	13%		39	
米州	174	12%		245	14%		308	15%		64	
自動車用ガラス事業	709	48%	13	816	46%	△ 7	1,009	49%	32	193	39
欧州	312	21%		337	19%		425	20%		88	
アジア	151	10%		145	8%		179	9%		34	
米州	246	17%		334	19%		405	19%		71	
高機能ガラス事業	114	8%	28	99	6%	32	100	5%	21	0	△ 11
欧州	21	1%		21	1%		25	1%		4	
アジア	90	6%		75	4%		71	3%		△ 4	
米州	3	0%		4	0%		4	0%		0	
その他	9	1%	△ 31	8	0%	△ 31	13	1%	△ 27	5	5
合計	1,477	100%	72	1,779	100%	83	2,080	100%	146	300	63

建築用ガラス事業 (増収・増益)

欧州で販売数量減少だが、その他地域での強い需要により増収。
 原材料およびその他コスト上昇を販売価格および販売数量の改善により吸収し、増益



欧州 (減収・減益)

- 経済活動の減速に伴い販売数量が減少
- 原材料およびその他コスト上昇と販売数量減少の影響を販売価格改善により一部軽減

アジア (増収・増益)

- 日本では需給改善に伴い販売価格および販売数量が改善
- その他アジアでは競合激化により販売価格が低下
- 太陽電池パネル用ガラスの需要は堅調

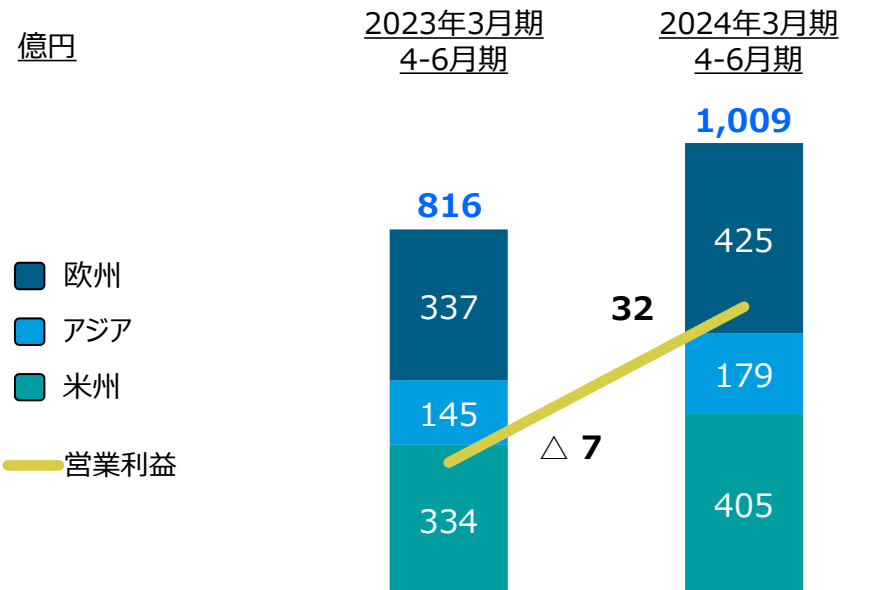
米州 (増収・増益)

- 北米では底堅い市場環境を反映し販売価格が上昇
- 太陽電池パネル用ガラスの需要は堅調
- 南米は強い需要が継続、アルゼンチンの新フロート窯稼働もあり販売数量増加

(億円)	4-6月期		
	2023年 3月期	2024年 3月期	差異
売上高	856	958	101
欧州	382	381	△ 1
アジア	229	268	39
米州	245	308	64
営業利益	89	119	30

自動車用ガラス事業 (増収・増益)

自動車生産制約の緩和に伴う販売数量増加および販売価格改善の進捗により全地域で増収増益



欧州 (増収・増益)

アジア (増収・増益)

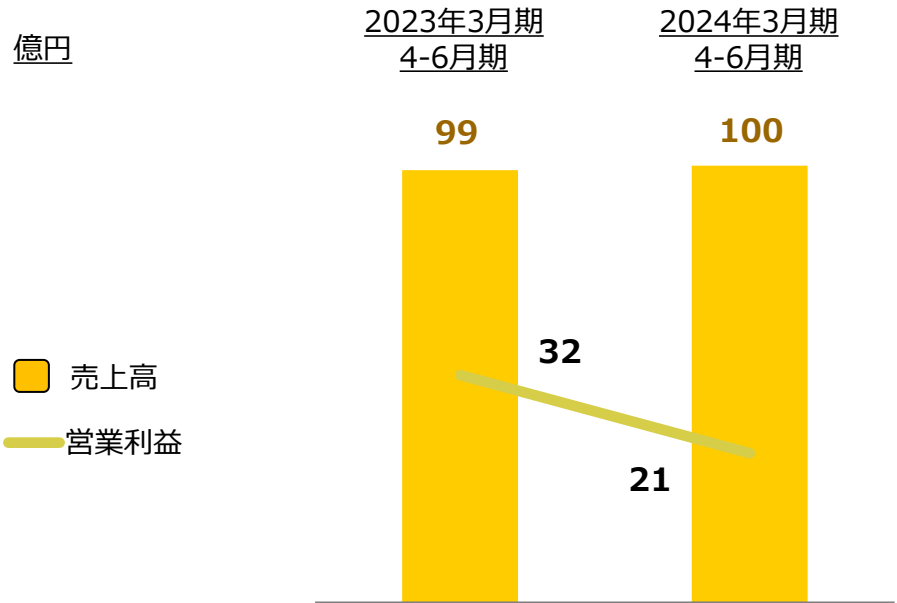
米州 (増収・増益)

- 部品不足による自動車生産制約の影響が緩和し、多くの地域で販売数量が増加
- 原材料およびその他コスト増加を転嫁するための価格改善交渉は引き続き進捗、販売価格が改善
- 引き続きコスト削減、高付加価値製品の拡大、価格改善を推進

(億円)	4-6月期		
	2023年 3月期	2024年 3月期	差異
売上高	816	1,009	193
欧州	337	425	88
アジア	145	179	34
米州	334	405	71
営業利益	△ 7	32	39

高機能ガラス事業 (増収・減益)

売上高は横ばいだが、原燃材料およびその他コスト上昇と売上構成の悪化により減益



- ファインガラスでは、IT市場減速の影響を受け販売数量が減少
売上構成も悪化
- プリンター用レンズは、在宅勤務、オンライン授業向けの需要が減少
- グラスコードは自動車生産制約の緩和に伴い回復
- メタシャイン® は自動車塗料および化粧品向けで増加

(億円)	4-6月期		
	2023年 3月期	2024年 3月期	差異
売上高	99	100	0
営業利益	32	21	△ 11

2. 2024年3月期 業績予想について

2024年3月期 業績予想の前提

グループ	<p>第1四半期実績を踏まえ上期・通期の売上高・営業利益・税引前利益・当期利益・純利益予想を上方修正 RP24の最終年にあたり、引き続き重点施策「財務基盤の回復」を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> • 当初想定より円安を見込む • ロシアJV売却に伴う過去の減損損失の戻入益を計上 • エネルギー価格は落ち着くものの、世界的なインフレ拡大等で原材料やその他コスト増加は継続 • 金利上昇による潜在的な景気後退などのリスクにより事業環境は依然不透明、金融費用も増加
建築用ガラス	<p>良好な需給環境継続を期待、一方で欧米を中心に景気後退懸念</p> <ul style="list-style-type: none"> • 欧州：エネルギー価格は落ち着くが原材料費高騰が続き、価格転嫁も継続。販売数量は減少の見込み • アジア：日本の数量および価格が回復するが、その他アジア地域での競合状況を注視 • 北米：市場は好調継続ながら利上げによる景気後退懸念 • 南米：タイトな需給環境が継続、アルゼンチンの新フロート窯の通年稼働が貢献 • 太陽電池パネル用ガラス：堅調な需要が続き、マレーシアで生産設備が稼働予定、米国でも拡大検討中
自動車用ガラス	<p>原燃材料費高騰の影響が続くが、販売数量は増加する見込み</p> <ul style="list-style-type: none"> • 全地域で強い自動車需要と在庫積み上げが継続 • 自動車生産の制約解消に伴い販売数量が徐々に回復していく見込み • 自動車メーカーとの価格改善交渉を継続 • コスト削減、高付加価値製品拡大、価格改善により更なる収益性改善を目指す
高機能ガラス	<p>コスト上昇およびIT市場の減速に伴う需要減少の影響を受け利益率低下</p> <ul style="list-style-type: none"> • ファインガラスは、コスト削減を継続するが、市場減速の影響を受ける見込み • プリンター用レンズは、在宅勤務、オンライン授業に伴う需要減少により販売数量減少の見込み • グラスコードは、自動車生産の制約解消に伴い販売数量が徐々に回復していく見込み

2024年3月期 業績予想

当初想定を上回るQ1業績とロシアJVの売却に伴う戻入益計上を踏まえ、上期・通期ともに上方修正

(億円)	2024年3月期 予想 (前回)		2024年3月期 予想 (今回)		増減		2023年3月期 通期実績 (参考)
	上期	通期	上期	通期	上期	通期	
売上高	3,700	7,600	4,200	8,400	500	800	7,635
営業利益	140	300	190	350	50	50	348
個別開示項目 (純額)	10	10	0	0	△ 10	△ 10	△ 452
個別開示項目後営業利益 (△損失)	150	310	190	350	40	40	△ 103
金融費用 (純額)	△ 110	△ 220	△ 130	△ 260	△ 20	△ 40	△ 174
持分法適用会社に対する 金融債権の減損損失の戻入益	-	-	40	40	40	40	-
持分法による投資利益	30	70	20	60	0	0	73
持分法投資に関する その他の利益 (△損失)			10	10			△ 15
税引前利益 (△損失)	70	160	130	200	60	40	△ 219
当期利益 (△損失)	40	90	90	130	50	40	△ 310
純利益 (△損失)*	30	70	80	110	50	40	△ 338

3. リバイバル計画24 (RP24) に基づく構造改革施策の主な進捗

リバイバル計画24(RP24)に基づく構造改革施策の主な進捗

持続的な成長が可能な事業体質を目指し主要施策を推進

3つの改革

● コスト構造改革

- ・ 営業利益率改善を目指し引き続きコスト削減を継続

● 事業構造改革

- ・ アルゼンチン2基目の新フロート窯が収益に貢献
- ・ マレーシアの既存フロート窯で、太陽電池パネル用ガラスのオンラインコーティング設備建設が順調に進捗（2024年3月期第3四半期より生産開始予定）
- ・ 米国でも太陽電池パネル用ガラスの生産能力拡大に向けて検討中
- ・ 英国でガラス生産ラインを統合し、1窯でフロート板ガラスおよび型板ガラスを生産可能に

● 企業風土改革

- ・ 4月1日より新CEOが就任、4つの「F」（Flatな組織、Frankなコミュニケーション、Fastな意思決定+職場におけるFun）をモットーに企業風土改革の推進を加速、トップ自らが率先し「リーダーシップ行動憲章」を体現



型板ガラス生産ライン移設先のグリーンゲート事業所（英国）



4つの「F」についてタウンホールミーティングで話す新CEOの細沼

リバイバル計画24(RP24)に基づく構造改革施策の主な進捗

RP24の最終年にあたり、引き続き重点施策「財務基盤の回復」を推進

2つの重点施策

● 財務基盤の回復

- ・ 営業利益率：原材料費高騰の下、コスト削減、高付加価値製品の拡大、販売価格上昇により7%に改善
- ・ 純利益：好調な業績およびジョイント・ベンチャー売却に伴う戻入益の計上もあり、Q1時点で70億円となる
- ・ 自己資本比率：前期末より2.2pt改善し12.4%と目標数値である10%を上回る
- ・ FCF：季節的な運転資本増加を除くとプラス、通期での目標数値である100億円以上達成を目指す

● 高収益事業へのポートフォリオ転換

- ・ ロシアにおけるジョイント・ベンチャーの売却を完了

4. まとめ

まとめ

1. 2024年3月期 第1四半期決算

- 前年同期比増収増益の力強いスタート。ロシアにおけるジョイント・ベンチャーの売却に伴い、減損損失戻入益を計上
- 原材料費およびその他コスト増加の影響を販売価格改善および販売数量増加で吸収
- 建築用ガラス事業の好調が継続、自動車用ガラス事業でも販売数量が回復、価格転嫁も進捗し収益改善
- グループ全体の営業利益率は7%まで上昇
- 自己資本比率はRP24の財務目標数値である10%超

2. 2024年3月期 業績予想

- 第1四半期実績を踏まえ上期および通期の売上高・営業利益・税引前利益・当期利益・純利益予想を上方修正
- エネルギー価格は落ち着くものの、世界的なインフレ拡大等で原材料やその他コスト増加は継続
- 金利上昇による潜在的な景気後退などのリスクにより事業環境は依然不透明、金融費用も増加

3. リバイバル計画24 (RP24) に基づく構造改革施策の主な進捗

- 事業構造改革：マレーシアの既存フロート窯で、太陽電池パネル用ガラスのオンラインコーティング設備新設が進捗
アルゼンチン2基目の新フロート窯が収益に貢献
- 財務基盤の回復：好調な業績に伴い営業利益率はグループ全体で7%に上昇、自己資本比率は12%超まで回復
RP24の最終年にあたり、引き続き重点施策「財務基盤の回復」を推進
- 高収益事業へのポートフォリオ転換：ロシアにおけるジョイント・ベンチャーの売却を完了

ご注意

当資料の業績見通しは、当社が現時点で入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。その要因の主なものとしては、主要市場の経済環境および競争環境、製品需給、為替・金利相場、原燃料市場環境、法規制の変動等がありますが、これらに限定されるものではありません。

日本板硝子株式会社

補足資料

- 連結損益計算書 四半期別推移
- 事業部門別・地域別業績 四半期別推移
- セグメント情報
- 地域別売上高および営業利益
- 個別開示項目
- 為替レート・為替感応度
- 減価償却費・資本的支出・研究開発費

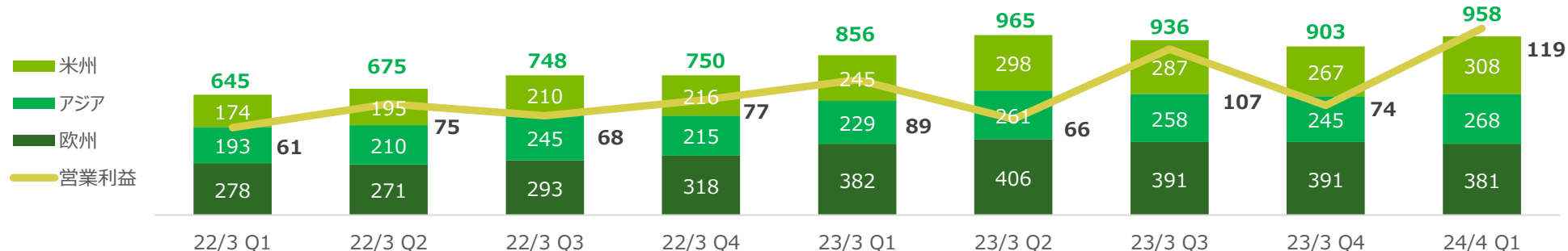
連結損益計算書 四半期別推移

(億円)	2022年 3月期				2023年 3月期				2024年 3月期
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期
売上高	1,477	1,430	1,523	1,576	1,779	1,977	1,906	1,973	2,080
営業利益 (△損失)	72	55	18	55	83	62	97	107	146
営業利益率	4.8%	3.9%	1.2%	3.5%	4.6%	3.1%	5.1%	5.4%	7.0%
個別開示項目 (純額)	△ 2	47	△ 2	△ 7	23	△ 473	10	△ 12	△ 8
個別開示項目後営業利益 (△損失)	70	102	17	48	106	△ 411	107	94	138
金融費用 (純額)	△ 29	△ 29	△ 32	△ 34	△ 28	△ 37	△ 48	△ 61	△ 64
持分法適用会社に対する金融債権の 減損損失の戻入益 (△損失)	-	-	-	△ 34	-	-	-	-	37
持分法による投資利益	15	19	22	19	22	10	21	20	10
持分法投資に関する その他の利益 (△損失)	-	-	-	△ 34	△ 12	5	△ 4	△ 4	11
税引前利益 (△損失)	55	92	7	△ 36	88	△ 434	77	49	133
当期利益 (△損失)	29	67	10	△ 38	33	△ 403	22	38	75
純利益 (△損失)*	25	61	0	△ 45	24	△ 412	17	34	70
EBITDA	165	146	111	144	180	161	202	207	253

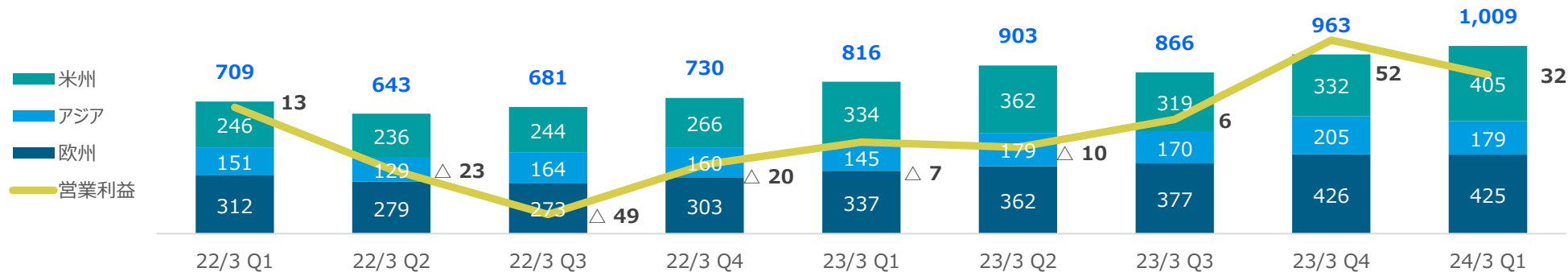
事業部門別・地域別売上高および営業利益 四半期別推移

単位：億円

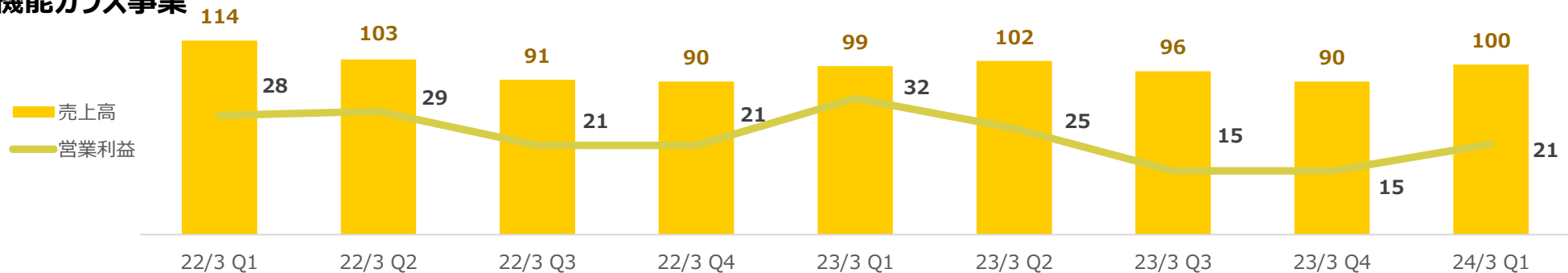
建築用ガラス事業



自動車用ガラス事業



高機能ガラス事業



セグメント情報

(億円)	2022年3月期					2023年3月期					2024年 3月期
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	累計	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	累計	4-6月期
売上高: 建築用ガラス	645	675	748	750	2,818	856	965	936	903	3,659	958
欧州	278	271	293	318	1,160	382	406	391	391	1,571	381
アジア	193	210	245	215	862	229	261	258	245	992	268
米州	174	194	210	216	795	245	298	287	267	1,096	308
営業利益	61	75	68	77	281	89	66	107	74	336	119
売上高:自動車用ガラス	709	643	681	730	2,762	816	903	866	963	3,547	1,009
欧州	312	279	273	303	1,167	337	362	377	426	1,502	425
アジア	151	129	164	160	604	145	179	170	205	699	179
米州	246	236	244	266	992	334	362	319	332	1,347	405
営業利益	13	△ 23	△ 49	△ 20	△ 79	△ 7	△ 10	6	52	41	32
売上高:高機能ガラス	114	103	91	90	398	99	102	96	90	388	100
欧州	21	18	20	20	79	21	25	22	27	95	25
アジア	90	82	68	66	306	75	73	70	58	276	71
米州	3	3	3	4	13	4	5	4	4	16	4
営業利益	28	29	21	21	99	32	25	15	15	87	21
売上高:その他	9	8	3	7	27	8	7	9	18	41	13
営業利益	△ 31	△ 25	△ 22	△ 24	△ 101	△ 31	△ 19	△ 31	△ 34	△ 115	△ 27
売上高:合計	1,477	1,430	1,523	1,576	6,006	1,779	1,977	1,906	1,973	7,635	2,080
営業利益	72	55	18	55	200	83	62	97	107	348	146

地域別売上高および営業利益

(億円)	2023年3月期 4-6月期			2024年3月期 4-6月期			増減	
	売上高	%	営業利益 (△損失)	売上高	%	営業利益 (△損失)	売上高	営業利益 (△損失)
欧州	740	42%	24	831	40%	25	91	1
アジア	449	25%	50	518	25%	82	69	31
米州	582	33%	40	718	35%	66	135	27
その他 *	8	0%	△ 31	13	1%	△ 27	5	5
合計	1,779	100%	83	2,080	100%	146	300	63

* 「その他」セグメントの売上高、営業利益は地域別に区分していない。

個別開示項目

(億円)	2023年3月期 4-6月期	2024年3月期 4-6月期
非流動資産の減損損失	△ 2	△ 5
棚卸資産の評価減	-	△ 2
係争案件の解決に係る収益 (△費用) 純額	26	△ 0
リストラクチャリング費用	△ 0	△ 0
その他	△ 0	0
個別開示項目 純額	23	△ 8

為替レート・為替感応度

期中平均レート

	2022年 3月期				2023年 3月期				2024年 3月期
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
英ポンド	153	152	153	153	163	163	164	163	172
ユーロ	132	131	131	130	138	139	140	141	150
米ドル	109	109	112	112	129	134	137	135	138
ブラジル・リアル	20.6	20.8	20.7	21.0	26.4	26.4	26.5	26.3	27.7
アルゼンチン・ペソ	超インフレ会計の適用により、期末レートのみ使用								

2024年 3月期
期初見通し
160
134
134
24.8

期末レート

	2022年 3月期				2023年 3月期				2024年 3月期
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
英ポンド	153	150	156	160	165	161	160	165	183
ユーロ	132	129	131	136	142	141	140	145	158
米ドル	111	112	116	122	136	145	132	133	145
ブラジル・リアル	22.3	20.6	20.4	25.5	26.2	26.7	25.7	26.2	29.8
アルゼンチン・ペソ	1.16	1.13	1.12	1.10	1.09	0.98	0.76	0.64	0.57

為替感応度

他の前提に変動がない条件で、為替レートが他の通貨に対して1%円高になった場合の影響額

	2023年 3月期
資本	30.0億円の減少
当期損失	4.0億円の改善

減価償却費・資本的支出・研究開発費

(億円)	2023年3月期 4-6月期	2024年3月期 4-6月期	2024年3月期 見通し
減価償却費	98	108	440
資本的支出	62	110	477
通常投資	54	80	
戦略投資	8	30	
研究開発費	22	22	100
建築用ガラス事業	7	8	
自動車用ガラス事業	6	7	
高機能ガラス事業	2	2	
その他	7	5	

NSG

GROUP